

引続き、中学の夏の大会が始まります。

高校試合結果

【高校：新人戦】
2012年10月14日(日)
武蔵●50-70大東文化一

【関東大会予選】
2013年4月21日(日)
武蔵●69-93東海大高輪

【インターハイ予選】
1回戦：2013年5月26日(日)
武蔵○107-60成城学園

2回戦：2013年6月2日(日)
武蔵○82-59都江東商

3回戦：2013年6月9日(日)
武蔵●57-128東海大菅生
(都ベスト64)

中学試合結果

【新人戦】
2012年10月7日(日)
武蔵○91-36三原台

2012年10月14日(日)
武蔵●55-57大泉

【3区合同大会】
2013年4月14日(日)
武蔵○70-41●中野二

2013年4月21日(日)
武蔵●47-73○神明

【都選手権予選】
1回戦：2013年6月16日(日)
武蔵●54-82○大泉西

中学観戦記

3区合同大会：対中野二 応援者の弁
勝ちましたが修正すべき点も多く、残り二回の練習でどこまで課題をクリアできるか。練習してきたハーフオフェンスの合わせの動き、意欲的に速攻を出すことが出来ていた。2-2-1 プレスはかなり修正の必要がありそう。

3区合同大会：対神明 84期橋本コーチ
3Qまではなんとか食らいつきましたが、4Q目で体力切れし突き放される結果となりました。ルーズボールへの執着心の無さ、リバウンドにおけるスクリーンアウトの甘さが目立つ試合でした。また、練習をしてきたオールコートプレスも相手のガードに翻弄されこちらのやりたい事が中々出来ませんでした。今後の練習ではこの大会の反省をいかし、少しでもチーム力を上げられるよう頑張ります。次の大会までは残り二ヶ月足らずと、短い時間となりますが是非応援よろしくお願いたします。

都選手権予選1回戦：対大泉西

84期橋本コーチ
悔しい結果となってしまいました。試合は立ち上がりが悪く、序盤に開けられた点差に追いつけず終わる形でした。彼らの出だしの悪さが顕著に出てしまった試合となりました。中3のほとんどは高校に上がると思います。これからも応援よろしくお願いたします。

新チームは87期・高木がコーチとなります。自分はしばらくの間、高木のアシスタントとして働きたいと考えています。

インターハイ予選観戦記

1回戦：対成城学園 36期 池田 康夫
現役の試合のご案内を頂き、たまたま時間が取れたのと、場所が武蔵だったので何十年振りに高校のインターハイ予選を観戦して来ました。以下は私の観戦記です。

相手は成城学園でした。成城にはセンターに190cmを超す選手がいて、キャプテンも運動能力に優れた選手でしたのでどうい試合をするかなと？興味があったのですが、結果は何と100点ゲームで勝ちました。眼についた良い点はリバウンドへの参加意識が高く、取れはしないのですがはじき出したりしてそのセカンドボールをかなり拾えた事により結果として身長差を克服出来た事でした。ボールに対する集中力があると感じました。

一方、ディフェンス面ではプレスに行く際、ボールを持っている選手に対する攻めの姿勢が良いのですが、低い姿勢のディフェンスや足の運びに今一練習が出来ていない為か簡単に抜かれてしまう事が目立つ事その他、ボールを持っていない選手への対応に抜かりがあり、イーージーシュートにつながることもしばしばでした。コート全体を眺めて予測する事が全く出来ていないように感じました。

試合の中心になるプレーヤーはいるのですが、試合の流れを冷静に把握して試合をコントロール出来るプレーヤーが欲しいと感じました。最後に高校の試合はファウルをとる事が多い事もありフリースローの確率を上げないとこれから厳しいですね！

これからは時間さえ取れば観戦に行きたいと思っています。

新会員
87期チーム紹介

7987期 宮崎 哲大
堀田 恭平

チームメンバーは高木(キャプテン)、宮沢、田中、杉野、宮崎、守田、倉持の7名。このうち守田と倉持の2名は高1からの参加。前年、前々年よりも身長が低くなつたため「走るチーム」を目指した。最終成績は、都ベスト64(インターハイ予選)。

【オフェンス】

センターの宮沢が得点源のチームであり、毎試合圧倒的なパフォーマンスを見せた。またPGの杉野がスピードのあるボール運びでチームの速攻をリードしてきた。

【ディフェンス】

2-2-1オールコートプレスからのマンツーマンがメインで、ゾーンを局面によって使い分けた。芝高戦では山崎先生が珍しくハイフ2-3ゾーンを指示したが、慣れないDFに対してもスマートに対応し、見事な逆転劇を飾った。

【リバウンド】

チームで特に秀でている点はリバウンドである。最も身長が高い田中が178cmほどと全体的に小柄なチームであるが、リバウンドで負ける印象はない。インサイド・アウトサイドに関わらず、スピードをつけてリバウンドに飛び込んでいく姿が必ず見られた。

RKM 就活支援のご案内

幹事会では就活支援の実施を考えています。就活を控える学生の皆さん、RKMのOBネットワークを是非活用しましょう。下記まで連絡ください。

連絡先：78期 木本健一
090-5769-0199
k.kimoto0731@gmail.com



前列左より宮沢万里(副キャプテン)、高木優(キャプテン)、田中史周
後列左より杉野功祐、倉持大梧郎、宮崎哲大、守田智洋

RKM会報

2013年8月発行 Vol.8

編集・発行：RKM 幹事会
RKM 幹事会事務局：桑水流正邦(くわするまさくに)

〒132-0035 東京都江戸川区平井4-26-9 渡瀬方

メールアドレス：rkm634-all-owner@yahooogroups.jp

平成25年度総会報告

平成25年度RKM総会を6月11日(火)に日本教育会館(二ツ橋)にて開催致しました。新会員87期からは3名の参加があり、10代からは80代まで57名の方々に出席いただき、幅広い世代での交流がみられた賑やかな会となりました。先生2名、旧制3名、24〜50期41名、51期〜87期10名(内学生6名)と中堅・若手OBの出席がまだまだ少ない状況ですが、年々出席者が増えてきているのはうれしいことです(今年の57名は過去6年間で最多の出席者数でした)。

総会では、まず、昨年度に亡くなられた吉澤前会長他全5名のご冥福を全員黙祷で祈った後、久我会長の挨拶(詳細次ページに掲載)に続いて、総会前の旧制組座談会に出席された19期岡部侠児さんから特別にご挨拶をいただきました。その後、幹事会から「平成24年度活動実績・会計決算と監査結果」の報告および「平成25年度活動計画・会計予算」の提案があり、全て満場の拍手をもって承認されました。決算では、平成24年度も47

万円の剰余金を残すことができ、その中から現役支援金として20万円を山崎先生(コーチ)に贈呈しました。その他には、100年史プロジェクト積立金も3年目となり30万円となりました。会費納入ならびにご寄付にご協力いただきました皆様は御礼申し上げます。その後、アーカイブプロジェクト推進委員会の川浪茂男委員長(29期)より、年次の近いグループでの座談会が始まったことなど前年度の活動状況が報告され、総会の部が無事終了しました。

懇親会の部は、今年度出席者の中で最長老の22期芹沢憲一さんによる乾杯の音頭で幕を開け、賑やかな歓談の輪が広がりました。途中、近況報告・諸会合紹介等があり、このたび武蔵学園の副理事長に就任された36期池田康夫さんのご挨拶や36期鹿子木雅さんからRKMゴルフ会の春大会の報告と秋大会のご案内がありました。また、78期木本健一さんから、学生OBに対する就職活動支援をRKMとして行いたいとの提案があり、学生に

対してのプレゼンと相談や情報提供に協力していただけるOBに対するの協力依頼がなされました。この提案に対して、「学生OBがRKMの先輩に接するいい機会だし、OB会活動に意識を持ってもらいたい機会にもなる。」等と頷きながら耳を傾けているOBがいっぱいありました。さらに歓談中の30期代のグループから「こういう場で寄付を募ってはどうか。」という発案で、急遽幹事が会場を回って寄付を集めさせていただき、6万円の協力が得られました。最後には、全員で恒例の集合写真を撮影し、本年度の総会もお開きとなりました。

次回総会予定

来年度の総会は、平成26年(2014年)6月上旬を予定しています。詳細は決定次第RKMホームページおよびメールでお知らせ致しますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご出席ください。同期会の場として、総会を活用していただくことも歓迎です。



1: 集合写真
2: 山崎先生へ現役支援金贈呈
3: 世代を超えて談笑
4: ボールを手に

寄付御礼
会費以外にご寄付いただいた左記の皆様、改めて御礼申し上げます。
・433期 平岡弘夫様
・54期 今田太郎様、松原健二様
・総会時にご協力下さった皆様

【物故者】
平成25年1月以降に亡くなられたRKM会員をご報告させていただきます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
・澤田 嘉夫様(29期)
平成25年1月6日ご逝去
・佐藤 光直様(30期)
平成25年2月11日ご逝去

RKM会長挨拶

36期 久我 昭雄

RKMは87期7名の新会員を加え、87年間、480名強の会員となり、本日の総会出席者は50名を超えました。ここ数年、『お知らせの情報量を多くする』『現役を支援する』という2つの目標に沿って、年2回の会報発行、100周年記念事業プロジェクト、現役の試合応援とその結果の連絡ホームページの復活、年別別幹事会の開催、ホームカミングデー、元旦バスケット等の活動を展開し、また継続的に現役支援金を提供してきました。加えて、この4月には40名の人が集結したRKMゴルフ会等々、RKMの活動はますます活発になってきていると思います。

一方で、活動の活性化に伴い、会費の増加ペースを上回る支出を余儀なくされ、ご報告にありますとおり、今回の決算は苦しいものとなってきております。

ここが知恵の出どころと思います。会費収入の増加と現役支援その他の活動の維持拡大のため、皆さんの知恵とお力をお借りしたい。幹事会で話し合った中に、現役や在学中の若手会員にRKMがさらに役に立つため、就職活動に何らかの支援ができないかという提案が出されました。現役諸君や在学中の会員にとって、RKMをさらに身近に感じてもらえ、将来

のOB会活動への参画も積極的になつていただけるものと期待しています。OB諸氏も若い世代への応援ができるならと感じておられると思うので、まずは幹事の間で形になるよう努力してみます。会員の皆様にもご協力をお願いします。

また、100周年に向けてRKMも山崎先生に指導を受けた若手の世代が多くなりますので、この世代の多くの人が参画してもらえよう幹事団としても工夫していきます。総会に出席されている方は少ないようですので、この会報の場を通じて、若手OBの皆さまの今後のご協力をお願いします。

現役活動報告

体育科・高校コーチ 山崎 正晴

現役支援金の使途

OB諸兄にはこの紙面をお借りいたしましたして厚く御礼申し上げます。上向きと言いつつも閉塞感がゆるまない昨今にありながら、例年と変わらぬご支援に生徒とともに感謝いたします。ありがとうございます。

さてその使用についてですが、例年ですと外部から来ていただいているトレーニングコーチの契約金、あるいはボール代とさせていただいておりました。しかし、今年度は中学、高校ともにユニフォームを新調するにあたっての助成とさせていただきます。

アーカイブ座談会

47期 桑水流 正邦

100周年記念事業活動の一部として、まず、最若手の80期台と長老世代の旧制・新制初期の2回の座談会を行いました。今後、年代の近い世代ごとの座談会を拡大実施していきますので、OB諸兄の参加をお願いします。

第1回…(2013年4月26日18時半)21時@KDDI飯田橋ビル内)出席者…計17名(80期台11名…81須賀、81渡部、81三浦、82伊藤、82若杉、82脇田、83金森、84橋本、85藤森、87高木、87宮崎、特別ゲスト1名…58松本)、事務局5名(29川浪、41畑、47桑水流、61桑田、78木本)

最初にメールで声掛けした時にはイマイチ反応が鈍かったのですが、若手内で利用されているFacebookで連絡してもらったところ、11名の参加者が集まりました。さらに58期松本さんに特別ゲストとして加わってもらい、そのリードであつたという間に予定の2時間をオーバーしてしまいました。今まで山崎世代の話をやつくり聞く機会がありませんでしたが、どの期もそれぞれのチームの特徴を生かしたプレーがあり、山崎先生の工夫を垣間見ることが出来ました。この世代は現役を指導したり練習相手になつたりする機会が

多いので、彼らを通じて現役に諸先輩の経験・ノウハウを伝えるとのアイデアも出て、早速実行されています。

第2回…(2013年6月11日16時)18時@日本教育会館)

出席者…計9名(旧制及び新制初期6名…19岡部、22芹沢、23黒板、23村松、25平野、26清水)、事務局3名(29川浪、36久我、47桑水流) RKM総会前の時間を利用して、旧制から新制3期までの先輩の方々に集まって頂きました。皆さんから、50年史に書かれていない事実の新たなお披露目があり、戦中から戦後間もない大変な時期にも、仲間と助け合つてバスケットに汗を流した頃のお話が聞けて大変興味深かったです。なお、現在の会員名簿に記載されていない仲間の方々も大勢いらつしやることで、それらの情報も今後整理していきます。



第2回アーカイブ座談会の様子

昨年度よりバスケットボール部の体制が新体制となりました。新たに西山、川端両先生に顧問となつていただき、それまでの大山先生は退任、小池先生は相談役として顧問担つていただきました。

そこで、かねがね考えておりました中学、高校の連携、継続について意識させるべくユニフォームの新調を決定いたしました。

中学は前任の大山先生の理念の基、年度ごとに個人持ちのユニフォームを作成しておりました。ただ時間的に新チームの活動に間に合わせる事が非常に難しく、毎年苦慮しておりました。また高校はチーム管理のユニフォームを14年間使用してきました。生徒は大切に使用してくれましたが、年数が年数ですのでそろそろ機会を考えておりました。

このようなことから、OB諸兄にいただきました生徒援助金を使用させていただくことにいたしました。ユニフォームは現在作成中のため現物はお見せできませんが、デザイン画をどうぞご覧ください。



吉澤正君を送る

32期 印南 文雄

吉澤正君が亡くなった。まだ73才。一年余りの闘病生活で我々RKMの至宝ともいうべき貴重な人材を失い悲しみに堪えない。神は酷いことをされる。

吉澤君は昭和27年(1952年)武蔵中学入学と共に武蔵籠球部(RKM)に入部、以後高3のインターハイ優勝でボールを置くまで6年間休む事がなかった。中学の頃の渋谷(松濤)のお宅に伺うと庭にバスケットのリングがあり、お父様が「正がバスケットが好きなので」といわれ、ビツクリしたのを覚えている。我々32期のチームは吉澤キャプテンを中心に東京都中学選手権は負け知らず、高校2・3年とインターハイ連覇を果たした。この成果は、中学時代は先輩の清水(幸)さんの指導、高校は勿論畑先生の指導の賜物であるが、畑先生のバスケットを良く理解し部員を引っ張り、チームを造った吉澤キャプテンの存在も又、量りしれない。その年のバスケットボール機関誌には「畑先生のチーム造りの要諦」と共に吉澤君の「チームがいかに練習し、いかに戦ってきたか」の記述があり、同君は文中「僕等がバスケットをやっている最大の理由はバスケットが好きだからということに他ならないです」と述べている。

新チームについて

昨年はベスト32へあと一歩というところで入ることができませんでした。近年180cmを超える選手がいなくなり困難を強いられております。新チームも昨年同様小さい選手でチーム作りをせざるを得ないと考えております。

そこで新チームの課題は第一に走力です。上位のチームと走りつこさせない、しないためにもやはり走力が必要になります。次にはオフエンスで1対0を作るための共通理解とその結論であるシュート力です。現段階の練習ゲームでも、1対0を作りノーマークでシュートできる場面はあるのですが、いかにせん決まりません。決まらなければ元々苦しいリバウンドでは競り合いにくく逆速攻を決められ意気消沈となっております。そこでのシュートが決まりさえすれば逆速攻は存在せず、一つ目のハードルは乗り越えられるのではないかと考えています。但しハードルは際限なく続きますが。

このように大きく2つの課題を設定いたしておりますが、チームコンセプトはオフエンス・1対0を作る、ディフェンス・1対1+αで守る、です。年々で細かなことは変えざるをえませんが、ないバスケット感を絞り生徒へ提案していきます。さてどのようなチームになりますとかえうご期待？

いかにも吉澤らしい言葉と思う。

彼は東大進学後も同期の佐室瑞穂君と共に東大バスケット部の一部昇格を目標にバスケットと戦い、研究生活に入つてもバスケットを愛する気持ちは変わらず、講義にも下手なダジャレとバスケットの話がよく出たと聞く。

その彼が学究生活で大きな成果を挙げ、一段落がついた時点で大澤茂樹前会長(29期)からRKM会長職を委嘱されたのは、ごく自然の成り行きと思えた。就任後、彼は直ちにRKM組織を改編し、RKMを愛する優秀な若手を適所に配置し活発な議論の上、吉澤RKMの確立に邁進した。第一に財政の確立、広報の充実、現役への応援、総会・ホームカミングデーの参加者増加と内容の充実、これらの施策によりRKMの諸活動は大きく活性化し、会員相互の交流・絆は一段と深まった。

武蔵の歴史は86期、RKM会員は18才から90才台まで約400人、この多岐に互るメンバーをひとつに束ねるのは至難の業、唯一あるとすれば「バスケットを愛する心」かもしれない。この点吉澤は正に適任であった。特に彼は職業柄若者との距離が近く、いとも軽々と若者の話の輪の中に入り議論をし、アドバイスをした。それと大先輩への知名度の高さが相俟つてRKMをまとめていく大きな力となった。まさに第2の畑公のような存在を示してくれるのではないかと

末文になります。拙い指導の中、変わらずご支援いただき常々感謝しております。是非武蔵体育館或いは試合会場へお越しください。お待ちしております。最後になりましたがOB諸兄のますますのご発展とご健康をお祈りし拙文を終えさせていただきます。ありがとうございます。

2013年度ホーム

カミングデイのご案内

同窓会主催のホームカミングデイが、9月21日(土)午後2時から開催されます。RKMでは、高中体育館にて2時～4時に現役との交流試合、その後恒例のフリースロー大会(賞品もあります)を行い、4時30分から高中図書館棟で開催される合同懇親会に合うようにお開きとします。

また、視聴覚教室にて22期荒牧重雄氏(気象部OB、東大名誉教授、山梨環境科学研究所長)による「火山と地震・富士山の噴火」の講演があります。

昨年のコートには、23名のOBが姿を見せて頂き、12名が現役とのプレーを楽しみました。若年層が高かったので、今年は現役と互角に動き回れる若手OBの参加大歓迎です。また、フリースロー大会のみの参加も歓迎しますので、同期や近い年代の方をお誘い合わせの上、是非足を運んでみてください。コートでお会いできることを楽しみにしています。(幹事一同)

と私には映った。

2年前のホームカミングデイでユニフォームを着てコートに立った吉澤、クリスマスに夫婦共々ワインを楽しんだ吉澤、もうその君はいない。然し今年のRKM総会には多勢の参加者を得て大いに盛り上がり楽しい会となった。久我昭雄新会長(36期)の下、各委員の熱心な活動の賜物である。又、「RKM100周年事業」への取り組みも始まっている。私はここに吉澤RKMはしっかりと生きています。我々メンバーのRKMを愛する心に支えられながら…。私は60年余、君と同じ時代を生きたら幸運を誇りに思う。これからも私達の心の中で一緒に生きていこう。

(平成25年7月記)



2011年ホームカミングデーに武蔵正門前にて。右から5人目が吉澤前会長。右から2番目が印南氏